

2013年(平成25年)の世界と日本の年平均気温(速報)

本資料は、1月～11月までの観測データをもとに、速報としてまとめたものです。確定値は平成26年1月初め(日本について)、2月初め(世界について)にホームページで発表します。

**2013年の世界の年平均気温偏差は+0.20℃で、2番目に高い値となる見込みです。
2013年の日本の年平均気温偏差は+0.40℃で、8番目に高い値となる見込みです。**

世界の年平均気温

2013年の世界の年平均気温偏差(1981～2010年の30年平均値を基準値とし、平均気温から基準値を差し引いた値)は+0.20℃で、統計を開始した1891年以降では2番目に高い値となる見込みです。世界の年平均気温は、長期的には100年あたり0.69℃の割合で上昇しており、特に1990年代半ば以降、高温となる年が多くなっています(図1)。

月別、季節別では、9月と11月の世界の平均気温偏差(それぞれ+0.26℃、+0.31℃)、及び9月～11月(北半球における秋季)の世界の平均気温偏差(+0.26℃)は、統計を開始した1891年以降で第1位の高い記録でした。また、地域別では、ユーラシア大陸やオーストラリアで広く高温偏差となったほか、海域では北太平洋中央部で高温、太平洋赤道域で低温偏差となる特徴が見られました(図2)。

なお、陸域のみの年平均気温偏差は+0.35℃で、1891年以降では4番目に高い値となる見込みです。

日本の年平均気温

2013年の日本の年平均気温偏差*は+0.40℃で、統計を開始した1898年以降では8番目に高い値となる見込みです。日本の年平均気温は、長期的には100年あたり1.15℃の割合で上昇しており、特に1990年代以降、高温となる年が頻出しています(図3)。

年平均気温の変動の要因

近年、世界と日本で高温となる年が頻出している要因としては、二酸化炭素などの温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化の影響に、数年～数十年程度の時間規模で繰り返される自然変動が重なったものと考えられます。

2013年の年平均気温の確定値は、日本については2014年1月初め、世界については2014年2月初めにホームページで発表します。また、年別・季節別・月別の世界及び日本の平均気温は気象庁ホームページにて随時更新・掲載しています。<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/temp/index.html>

※日本の平均気温の偏差の算出にあたっては、長期間にわたる気温観測データが存在し、都市化による影響が少なく、特定の地域に偏らないように選定した地点の気象台等の観測値を採用しています。2013年12月24日から、これらの地点を一部変更して15地点(網走、根室、寿都、山形、石巻、伏木、飯田、銚子、境、浜田、彦根、宮崎、多度津、名瀬、石垣島)とし、過去に遡って日本の平均気温の偏差を再計算しています。

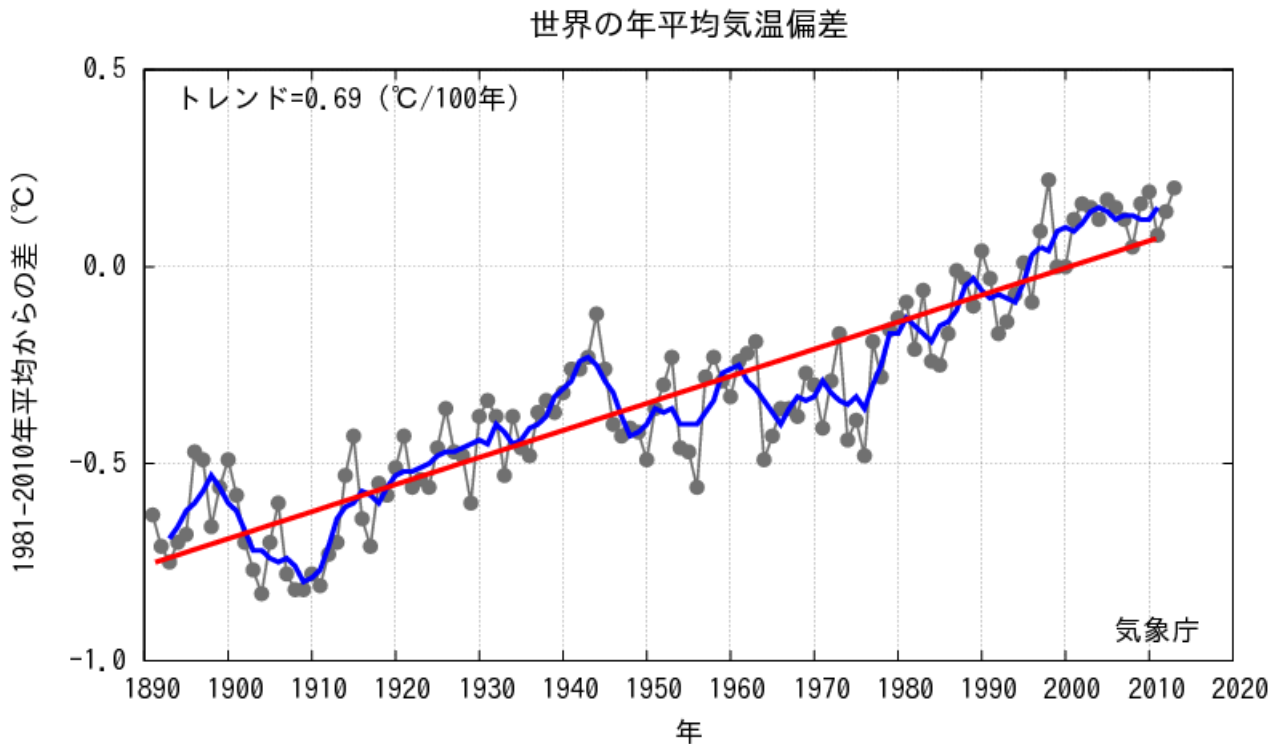
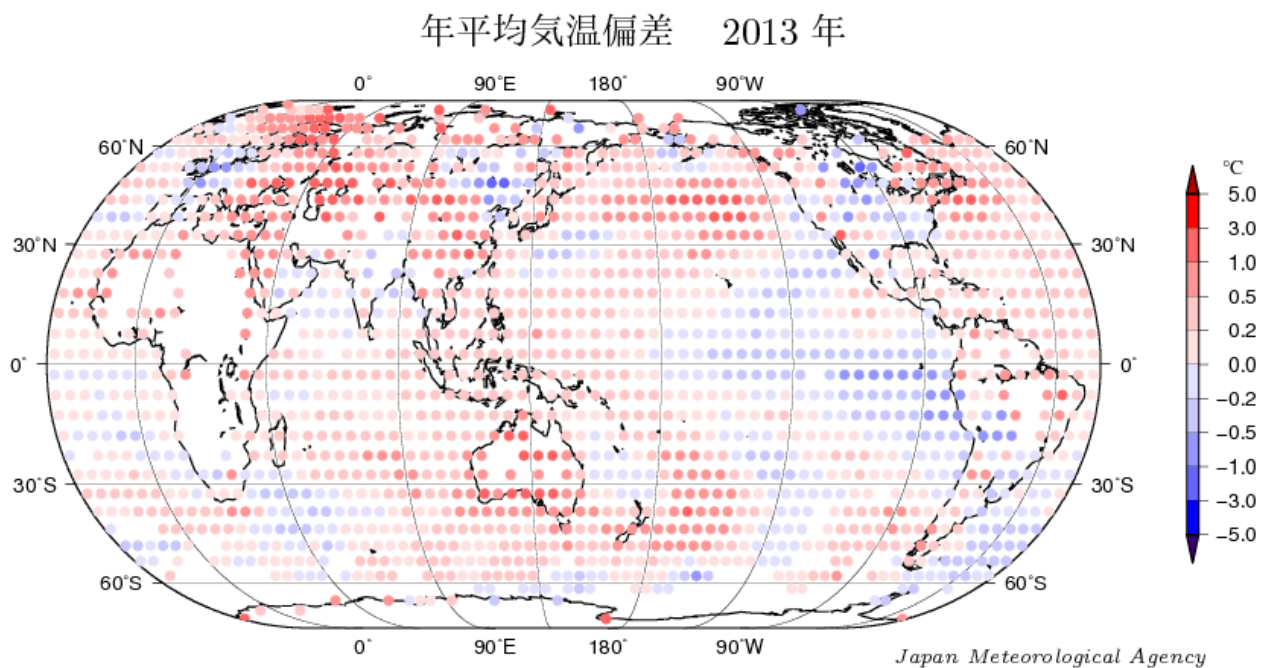


図1 世界の年平均気温偏差の経年変化(1891～2013年)
 黒線は各年の値、青線は各年の値の5年移動平均、赤線は長期変化傾向を示す。ただし、2013年は1月～11月の期間から算出した値(速報値)を用いている。



図中の丸印は、5°x 5°格子で平均した1981-2010年からの偏差を示す。

図2 2013年の年平均気温偏差の分布図
 各観測点の偏差(1月から11月の期間から算出した値)を緯度、経度5度の領域ごと平均した値で示す。なお、1891年以降の各月の月平均気温偏差および各年の年平均気温偏差の分布図を次のページに掲載している。
http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/temp/map/temp_map.html

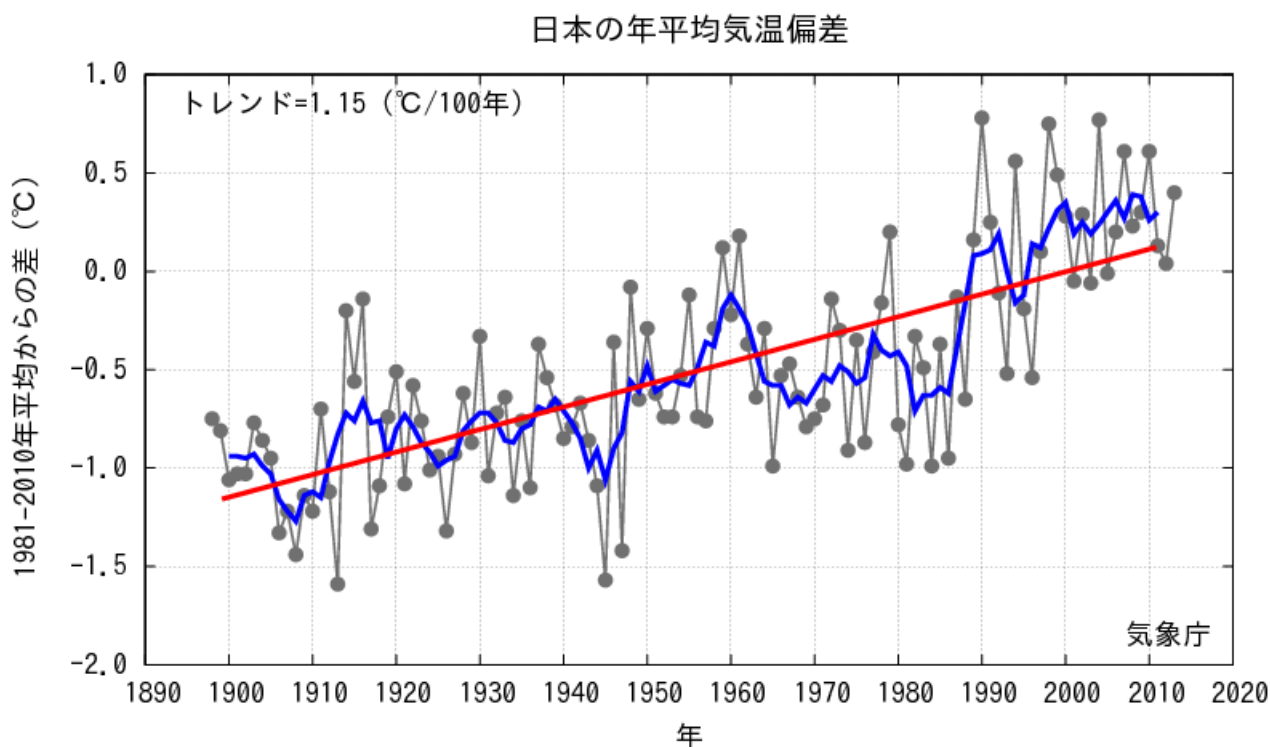


図3 日本の年平均気温偏差の経年変化(1898~2013年)
 黒線は各年の値、青線は各年の値の5年移動平均、赤線は長期変化傾向を示す。ただし、2013年は1月~11月の期間から算出した値(速報値)を用いている。

(表) 世界と日本の年平均気温の順位(上位10位まで)

世界			日本		
順位	年	気温偏差(°C)	順位	年	気温偏差(°C)
1	1998	+0.22	1	1990	+0.78
2	2013	+0.20	2	2004	+0.77
3	2010	+0.19	3	1998	+0.75
4	2005	+0.17	4	2010	+0.61
5	2009	+0.16		2007	+0.61
	2002	+0.16	6	1994	+0.56
7	2006	+0.15	7	1999	+0.49
	2003	+0.15	8	2013	+0.40
9	2012	+0.14	9	2009	+0.30
10	2007	+0.12	10	2002	+0.29
	2004	+0.12			
	2001	+0.12			

※ 上記の2013年の世界及び日本の年平均気温の気温偏差は、1月から11月までの月平均気温の偏差をもとに算出した速報値です。

※ 2013年の年平均気温の確定値は、2014年2月初めに公表しますが、速報値とは順位、値とも変わることがあります。